

# 最後の日々と時間

科目責任者 Wolfgang Roland Ade

学年・学期 1 学年・2 学期

## I. 前 文

生物学および社会的観点から「死」を捉えることは、人類の思索の核心にあり続けてきた。本講義では、長寿化に伴う生活習慣病や悪性腫瘍の増加を背景に、「死」に関する生物学、疾病学、人類学的課題を社会的・法的側面とともに探求する。さらに、こうした多角的な視点を通じて、「死」を巡る現代社会の課題と医療従事者の役割について深く考察する。

## II. 担当教員

特任教授 Wolfgang Roland Ade 医学部

特任教授 島田宗洋 医学部

## III. 一般学習目標

・医師は一般市民よりも頻繁に「死」と向き合う立場にある。そのため、「死」という課題に対してより受容的な態度を身につけ、患者が臨終を迎える際には適切な支援を提供するとともに、深い悲しみに包まれた親族に寄り添い、適切な対応ができるようになることを目指す。また、「死」という事象に対し、冷静かつ従容たる態度で行動し、対処できる能力を養うことを目的とする。

## IV. 学修の到達目標

- 1) 「死」や「死にゆくこと」に関する基本的な概念を理解し、正確に説明する能力を養う。
- 2) 患者やその親族に向けた終末期ケアに必要なコミュニケーションの基礎を学び、理論的に適切な対応を考えられるようになる。
- 3) 多様な文化や価値観における死の解釈や儀式について理解を深め、それらが医療に与える影響を認識する。
- 4) 死の哲学的側面を学び、医療者としての視点からそれらを考察し、自分の考えを整理する力を培う。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	7	8	水	5	人生の始まりと終わり	Wolfgang Roland Ade	1
2		15	水	5	生物学的・人類学的・哲学敵視点から見た死	Wolfgang Roland Ade	1
3	8	19	水	5	人類学的・哲学敵視点から見た死	Wolfgang Roland Ade	1
4		26	水	5	人間の尊厳	Wolfgang Roland Ade	1
5	9	2	水	5	自死, 非自発的過失致死, 殺人等	Wolfgang Roland Ade	1
6		9	水	5	往きの人生 - 還りの人生 / 往きの医療 - 還りの医療	島田宗洋	2
7		9	水	6	アルフォンス・デーケン「死生観・死の準備教育」	Wolfgang Roland Ade	1

VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

以下のとおり成績評価する。（ ）内は評価の割合。

期末レポート（50%）、シヨート・テスト（10%）

出席状況・態度、講義中の発言（20%）

予習レポート（10%）、復習レポート（10%）

VII. 教科書・参考図書・AV資料

講義中に必要に応じて配付する。

VIII. 質問への対応方法

講義中いつでもどうぞ。それ以外は事前に日独連携推進室へ予約してください。内線番号は2153。

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
<b>医師としてのプロフェッショナリズム</b> 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	○
<b>能動的学修能力</b> 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
<b>地域医療の理解</b> 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	
<b>国際性</b> 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
<b>リサーチマインド</b> 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

毎回の小テストのフィードバックはメールで行う。

XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（20分）：予習用動画を前もって配信するので、必ず取り組むこと。講義当日の最初にこの内容に関するテストを行い、結果は総合成績に反映される。

事後学習（20分）：授業で取り上げた内容でもっとも興味深かったことをまとめたレポートを次回の講義で提出する。

XII. コアカリ記号・番号

PR-01-01-01, PR-04-01-01, PR-04-01-02, GE-01-05-01, GE-02-04-01, GE-03-01-01, GE-03-06-01, GE-03-06-03, GE-04-02-03, CS-02-04-41, GE-03-01-01, SO-03-03-01, SO-03-03-01, SO-04-04-01, SO-04-05-01, SO-06-01-01, SO-06-01-02